

第4次日出町地域福祉計画

日出町地域福祉活動計画

【概要版】



令和5年6月

日出町・日出町社会福祉協議会

計画をつくる理由

近頃、少子高齢化、核家族化、高齢者世帯の増加、価値観の多様化、生活不安の増大、犯罪や事件の深刻化などを背景に、地域のつながりや地域に対する関心の希薄化が問題となっています。

また、これまでの、高齢者、障がい者、子どもといった分野ごとの取り組みでは対応できない孤立、虐待、いじめ、閉じこもり、消費者被害など複合的な課題が発生するなど、住民生活を取り巻く環境は大きく変化しており、新たな対応が求められています。

私も高齢なのに
介護もしなくては
誰にも頼れない



子育てを
相談できる人が
いない

近所に知り合いもない
もし、災害が起きたら
どうしよう



地域福祉ってなに

地域では、子どもから高齢者、障がい者やひとり親世帯など様々な人が暮らしています。地域福祉とは、住み慣れた地域社会の中で、だれもが幸せな生活を送るために、住民同士がお互いに理解し合い、支え合い、助け合うことによって地域の福祉課題に取り組む考え方です。

みんなで 支え、助け合おう

地域で話し合いの
場をつくろう



身近な人に
あいさつをしよう



ボランティア活動に参加しよう



「自助」「互助」「共助」「公助」で進める地域福祉

地域には、高齢者、障がいのある人、子育てや介護で悩んでいる人など様々な人が生活し、多くの悩みや課題を抱えています。このような多種多様な生活課題に対し、自分自身や家族、隣近所の手助け、地域での支え合い、行政等が行う公的支援や福祉サービスで解決する仕組みづくりが、地域福祉計画に求められています。



計画の基本理念

第4次日出町地域福祉計画・日出町地域福祉活動計画では、「つながり・支え合い・安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として設定します。

これからのまちづくりは、住民一人ひとりの努力「自助」、住民同士の相互扶助「互助」、介護保険などの社会保険制度「共助」、自助・互助・共助では対応出来ない方（生活困窮等）に対して最終的に必要な社会福祉制度「公助」の連携によって、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現への取り組みが必要です。

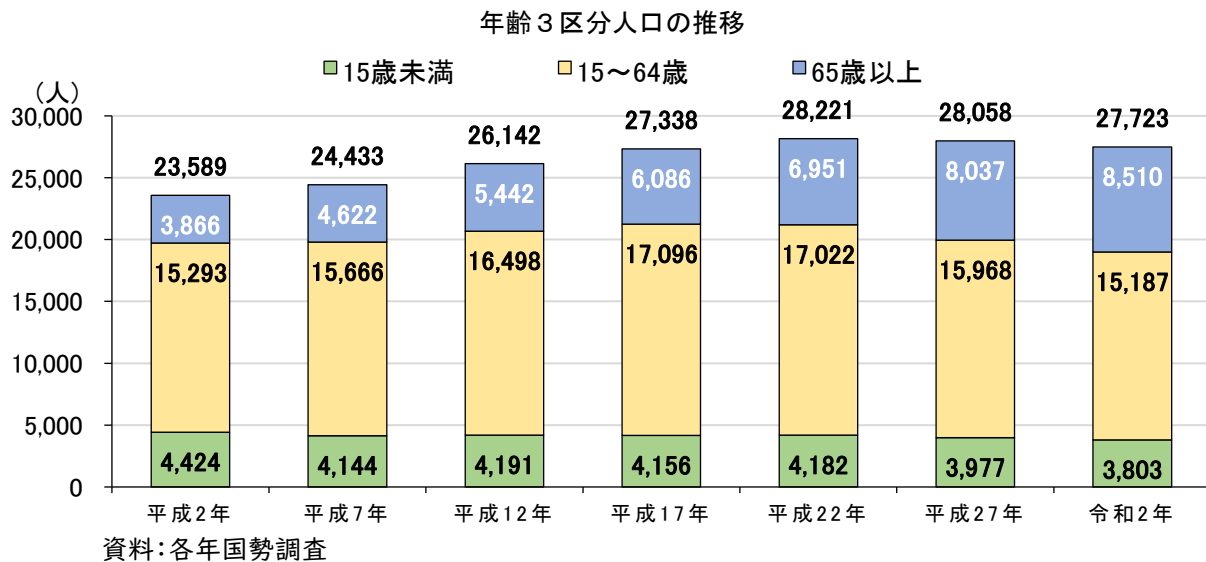
この計画では、基本理念の達成に向けて、「地域福祉を担う人づくり」、「支え合いの地域づくり」、「福祉サービスが充実したまちづくり」、「住民一人ひとりに寄り添う体制づくり」の4つの基本目標を設定します。



今の日出町は・・・

(1) 日出町の人口の推移

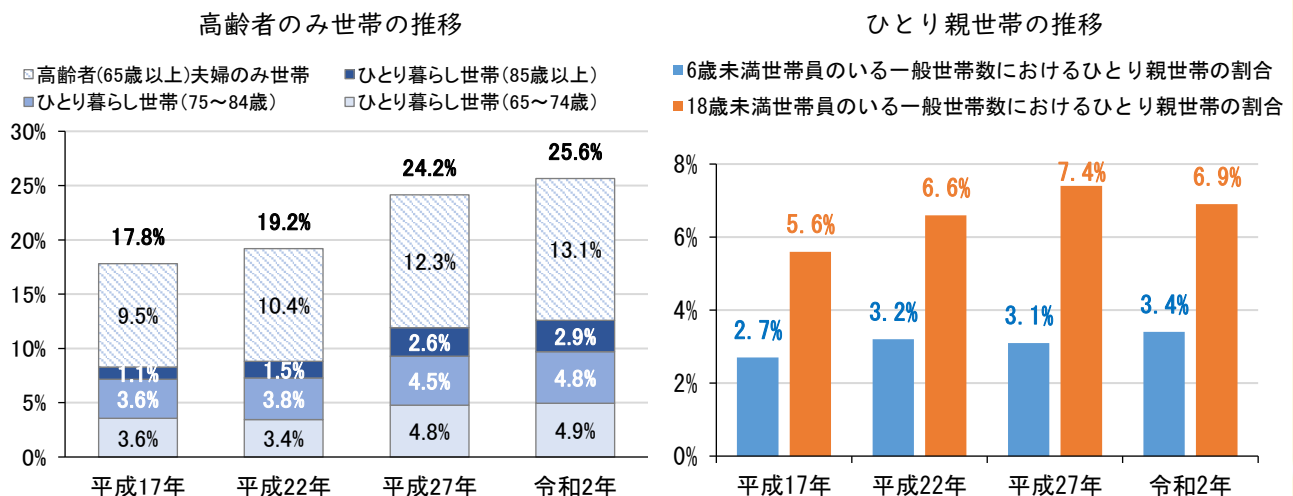
日出町の総人口は、増加傾向で推移していましたが、平成22年頃をピークに減少傾向に転じています。一方、65歳以上の人口割合は、年々上昇しており、令和2年の総人口の約30%は65歳以上となっており、今後も高齢者割合は増加することが予想されます。



(2) 高齢者のみ世帯、ひとり親世帯の推移

日出町の一般世帯数に占める高齢者のみの世帯は年々増加しており、令和2年の高齢者のひとり暮らし世帯は、一般世帯数の12.6%を占めています。

日出町の6歳未満世帯員のいる一般世帯数に対する母子家庭・父子家庭の割合は約3%、18歳未満世帯員のいる一般世帯数に対する母子家庭・父子家庭の割合は約7%となっています。



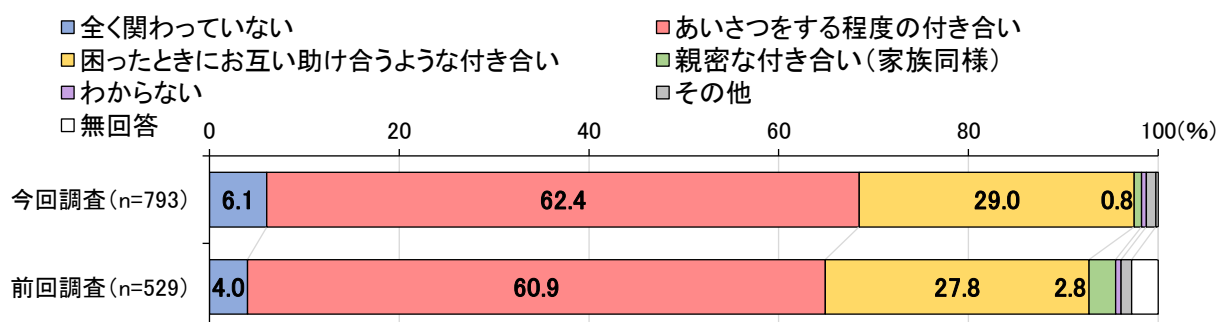
住民はどう感じているのか・・・

(1) 住民意識調査

◆普段の近所付き合い

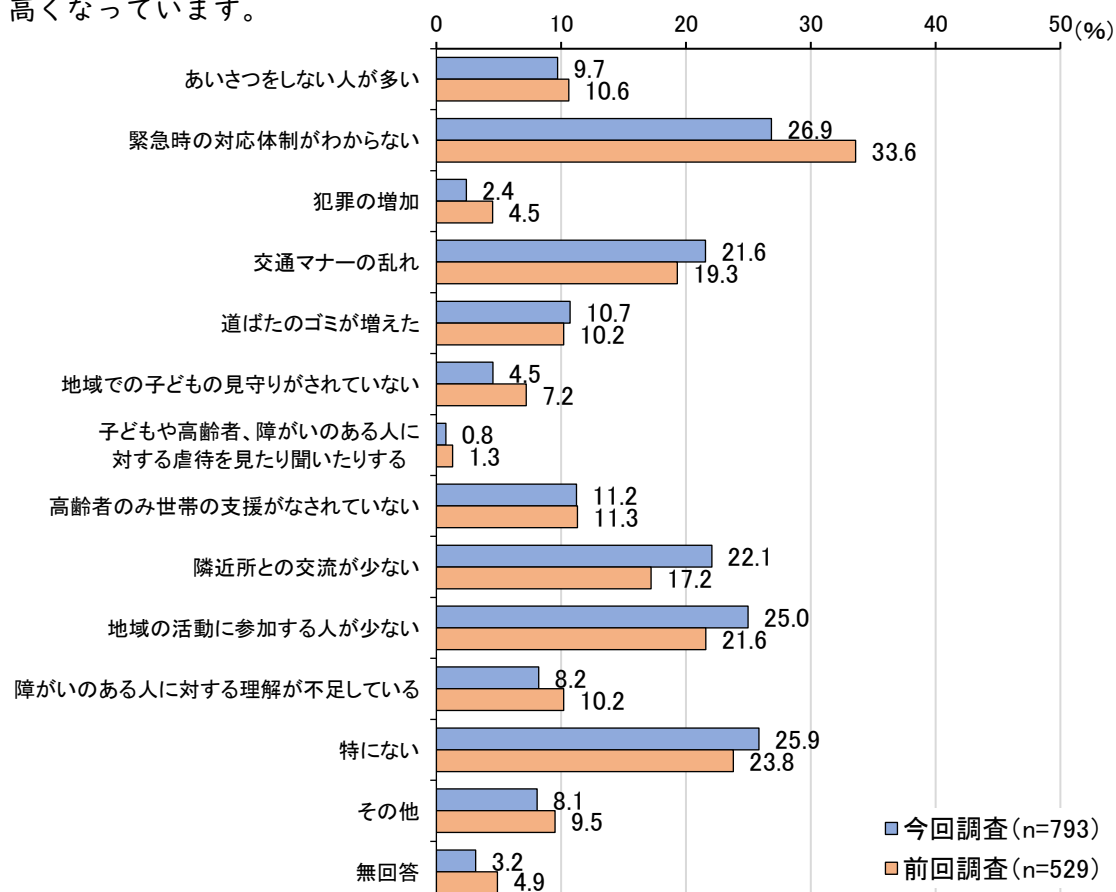
「あいさつをする程度の付き合い」が62.4%と最も高く、次いで「困ったときにお互い助け合うような付き合い」の29.0%、「全く関わっていない」の6.1%となっています。

前回調査と比較すると、「全く関わっていない」が2.1ポイント高くなっており、「親密な付き合い（家族同様）」が2.0ポイント低くなっています。



◆現在、あなたの住んでいる地域の中で、問題だと考えているもの

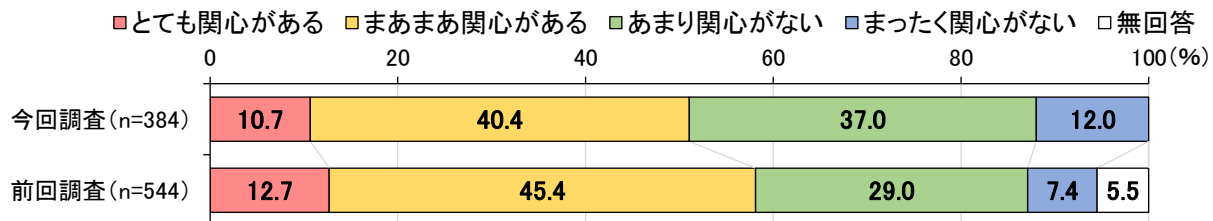
「緊急時の対応体制がわからない」が26.9%と最も高く、次いで「特にない」の25.9%、「地域の活動に参加する人が少ない」の25.0%、「隣近所との交流が少ない」の22.1%となっています。前回調査と比較すると、「隣近所との交流が少ない」は4.9ポイント高くなっています。



(2) 中学生意識調査

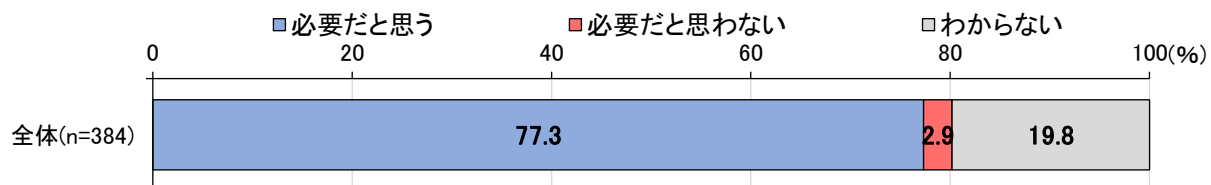
◆「福祉」の関心度

前回調査と比較すると、『関心なし(「あまり関心がない」+「まったく関心がない」)』は12.6ポイント高くなっています。



◆近所による支え合い、助け合いの必要性

「必要だと思う」が77.3%、「必要だと思わない」が2.9%、「わからない」が19.8%となっています。



資料：中学生意識調査結果【今回調査(令和4年実施)、前回調査(平成29年実施)】

(3) 地区座談会の意見

地域の現状や課題について、地域住民で話し合い、情報を共有し、地域の将来を考え合う場として地区座談会を開催しました。

同じ地区でも班の現状によって、地域の抱える課題は異なりますが、多くの地区で以下のような意見が多く出されました。



「つながり・支え合い・安心して暮らせるまちづくり」を目指して
4つの基本目標に取り組みます。

基本目標Ⅰ 地域福祉を担うひとづくり

（１）福祉人材の育成

地域福祉への関心を高め、活動に参加するきっかけとなるような働きかけを進め、活動の中核となるリーダー育成に取り組みます。

（２）福祉教育の充実

「福祉のこころ」を育むため、子どもの頃から気軽に参加してもらえよう福祉教育の機会拡充に努めます。

（３）健康・生きがいづくりの推進

町民一人ひとりが生涯を通じて、健康で豊かな日々の暮らしを送ることができるよう健康づくりに努めます。また、町民が生きがいをもって社会参加できるような仕組みづくりに努めます。

基本目標Ⅱ 支え合いの地域づくり

（１）ボランティア活動の支援

町民の積極的な地域活動に対して支援を行いつつ、ボランティア活動の充実・支援を行うとともに、協働の推進を図ることにより、地域活動の活性化に努めます。

（２）つながりの活性化

隣近所、地区、学校等において、広くあいさつ運動が展開できるよう啓発に努めます。
日頃から交流することができるよう、地域の集いの場や活動、イベント等の機会および情報を提供するなど、町民の交流や地域への参加を促進します。

（３）防災活動の推進

安全・安心な暮らしの確保に向けて地域ぐるみの防災活動を推進する中で、地域の連帯を醸成しつつ連携強化を図り、有事における被害軽減を図るなど、地域福祉に対する意識の醸成に努めます。

（４）防犯活動の推進(日出町再犯防止推進計画)

安全・安心な暮らしを実現するため、地域ぐるみで防犯活動を推進し、地域の連携強化を図り、地域福祉に対する支え合いの意識醸成に努めます。

基本目標Ⅲ 福祉サービスが充実したまちづくり

(1) 情報提供の充実

地域福祉をはじめ、様々な分野に関する情報発信に取り組みつつ、情報を必要とする人へ確実に情報が届くよう情報提供の充実に努めます。

(2) 福祉サービスの推進

多様化する町民ニーズに応じた多様な福祉サービスを提供することによって、福祉の向上を図るとともに、本町に「住んで良かった」「住み続けたい」と思ってもらえるよう、福祉サービスの充実に努めます。

(3) バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

ユニバーサルデザインやバリアフリーの理念に基づいた道路や施設の整備、高齢者や障がいのある方に対する移動支援など、誰もが利用しやすく、やさしさにあふれたまちづくりを推進します。

基本目標Ⅳ 住民一人ひとりに寄り添う体制づくり

(1) 相談体制の充実

町民の抱える悩みや不安について気軽に相談できるよう、地域の身近な相談窓口の周知に加え、各種相談員の質の向上を図り、さまざまな相談を受け止めて適切な支援につなぐ「断らない相談支援体制」の構築を推進します。

(2) 重層的支援体制整備事業の構築

地域住民やその世帯の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」「多様な社会参加に向けた支援」「地域づくりに向けた支援」の体制整備を進めます。

(3) 権利擁護の推進(日出町成年後見制度利用促進計画)

誰もが安心して地域で生活できるよう権利擁護の理解・促進を図るとともに、成年後見制度などの権利擁護事業を利用することができるよう、権利擁護活動を展開します。

編集 日出町 介護福祉課

〒879-1592

大分県速見郡日出町 2974 番地 1

TEL 0977-73-3121

日出町社会福祉協議会

〒879-1502

大分県速見郡日出町大字藤原 2277 番地 1

TEL 0977-72-0323

発行年月日 令和 5 年 6 月